

岡谷市

緑内障検診

今年も7月1日より岡谷市の緑内障検診が始まりました。昨年より開始されたこの検診は今年で第2回目になります。対象者は昨年同様40、45、50、55、60、65歳の岡谷市民の方で、5年に一度の節目検診ということになります。

○平成15年度緑内障検診の

受診状況

対象者は全年代を合わせると485人で、そのうち受診された方は1030人、全体の23%でした。年代別で分けると40歳代の方は14%で、50歳代の方は22%、60歳代の方は28%の受診率となっております。男女別でみてみると受診率は男性で15%、女性で31%でした。40歳代の男性の方の受診率が低い傾向にありました。

○検診結果

受診されました1030人の方のうち184の方が何らかの異常が認められ、精密検査を受けるよう

に勧められました。そのうち152人の方が眼科を受診され、精密検査の結果52人の方が緑内障と診断されました。精密検査を受けられなかった32人の方々が仮に全員緑内障ではなかったとしても、受診された方の約5%の方が緑内障の診断を受けました。全国的な疫学調査の結果の3・56%より高い数字を示しておりました。

昨年の結果だけから考えると40歳以上の岡谷市民の20人に1人が緑内障ということになります。

○緑内障と検査

緑内障は眼球の圧力、すなわち眼圧が高まって目の神経が障害され視力が落ちたり、視野（見える範囲）が狭くなったり、ひどい場合は失明に至る病気です。今回の岡谷市の緑内障検診では眼圧測定と、目の神経の状態をみるために眼底検査を行います。多少まぶしかったりしますが、どちらの検査もそんなに大変な検査ではなく時間もそうはかかりません。

緑内障は白内障と違って、一旦障害された視力や視野を手術によって回復させることはむずかしいと言われています。また緑内障は気付かないうちに徐々に進行してくる場合が多く、よく見えていても視野検査をしてみるとかなり視野が欠けていることも少なくありません。

逆に言うと、症状を自覚する頃には緑内障はかなり進行している状態と云えるのです。緑内障も他の病気と同様に早期発見、早期治療が大切です。早期の緑内障であ

れば、点眼薬で現在の視力、視野を長期間維持することも十分に可能です。この機会にぜひ一度、緑内障検診を受診してみてください。

(医師会)

